

# マイプラン 沿津アルプス後半ウォーク

(昨年踏破した三山五峠の残り、二山二峠を歩きます)

★実施日 10月14日(月)

★集合・出発(参加者各自、近隣駅より乗車) 富士宮駅7時10分発熱海行き乗車 ⇒ 富士駅7時34分発 ⇒ 沼津駅7時56分着

★コース 香貫台分岐… 徳倉山(象の頭)256m… 横山峠… 横山(182m)… 八重坂峠… 香貫山(193m)… 黒瀬… 沼津駅

★参加費 自己負担 ★難度 II ★保険加入なし ★所要時間 食事を含めて4時間30分 ★担当 石川清治(090-9027-0672)

## 北八ヶ岳横岳パノラマウォークに参加して

佐田 徳子

午前4時起床。朝食の支度を後回しにして長野県の天気を確認する。雨なんだろうなと思いきや、曇りのち晴れ。しかしレーダーでは雨雲が西から近づいている。これで本当に長野は雨が降らないのかな?と疑ってしまう。バスが進むにつれパラパラと雨が降ってきた。それでもまだ予報を信じロープウェイ山麓駅へ。小雨、予報は見事にはずれた。ロープウェイで標高2237m地点にある山頂駅へ。駅を出ると目の前に溶岩台地の坪庭が広がる。ここで普通組とゆったり組に別れ、私は普通組の北横岳コースへ。花は終わってしまったけれど、足元にはたくさんのゴゼンタチバナが。面白い事にゴゼンタチバナには六葉と四葉の株があって、六葉の株にだけ花を付けると昔教えてもらった事を思い出した。北横岳ヒュッテではヤナギランとアザミが迎えてくれた。頂上まではあと少し、晴れていれば360度のパノラマを楽しむ事が出来るはずだったけれど残念。頂上では風が強くなり立ち止っていると寒い。南峰で写真を撮り、すぐ隣にある北峰へは行かず下山。山頂駅でゆったりコースの人達と合流し休憩をしてから狭霧苑地へ向って出発する。針葉樹林の苔むした原生林の中に敷かれた木道を滑らないように気をつけながら歩く。しばらくすると立ち枯れた木が目立ってきた。北八ヶ岳の一角に広がっている縞枯現象だ。なぜ縞枯になるのか?完全に解明されていない珍しい自然現象らしい。今回は雨に降られてしまったけれど、北八ヶ岳の森は雨で生き生きしている様に見えた。森の奥から、もののけ達が私達人間をじっと見ていた様な気がした。最後に寄った「たてしな自由農園」たくさんの高原野菜をおみやげに楽しい一日でした。ありがとうございました。

## 開田高原・御嶽山一泊ウォーク

出発の日は朝からあいにくの雨、それでも四十八名の参加者は予定のコースを完歩しそのご褒美は翌日の上天気でした。

今回で十回目の企画ですが、又参加したいと好評を頂きました。



『木曾御嶽山・飯森高原駅(山頂駅)にて』

開田高原・御嶽山一泊ウォーク

秋雨や嘶き<sup>イナ</sup>聞かぬ馬の里

青葉や屋根に石置く飛驒の里

軒に積む薪の高<sup>マキ</sup>や冬支度

向日葵は頭でっかち秋の風

朽ち初<sup>シ</sup>むる櫓を<sup>シ</sup>ころも<sup>シ</sup>瀧じぶき

里人に逢うこともなし秋時雨

秋の夜の両手に花の夏かな

富士見えてほっと息する旅の秋

佐野 和彦

北八ヶ岳横岳パノラマウォーク

スイスなどと思う駅舎や朝の霧

百人のロープウェイや霧の中

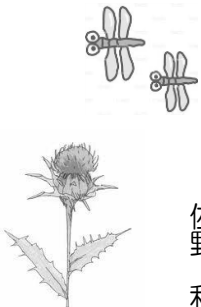
うらぶれる横岳ヒュッテ山<sup>アザミ</sup>薊

留<sup>ト</sup>まれば汗の冷ゆるや雨の中

荒涼と出逢いの辻や鳥兜

信州の旅愁をよみ<sup>シ</sup>蕎麦の花

佐野 和彦



一泊ウォーク入賞句 (佐野 和彦選)

刈りいるる日を待ちわびる<sup>シ</sup>はの花

飛驒路行く往時を憶ふ萩の花

きこつまにカサをこられて秋の雨

秋雨や木曾馬里の草の道

高原の雨に重たきすすきかな

雨の中ススキかき分け飛驒路行く

ひとやすみ開田高原きりの中

雨の中歩く背なにも秋の色

露天風呂見上げた空や鱗雲

雨足に頭をたれる稲穂かな

櫻井和代

望月早苗

渡辺祥子

上澤千恵子

井上とし子

渡辺えい子

望月充代

うめ子

塩川守

石川忠

## 10月事務所休業日

2日(水) 5日(土) 6日(日) 9日(水) 16日(水)

20日(日) 23日(水) 26日(土) 27日(日) 30日(水)

事務所ギャラリーには沢山の作品が展示してあります。

お気軽にお立ち寄りください。お待ちしております。